



オリーブ通信

2020年
8月号
2020.8.22発行
第224号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu/>

卒業します！

張 鵬霞さん

11月から日本に来ました。

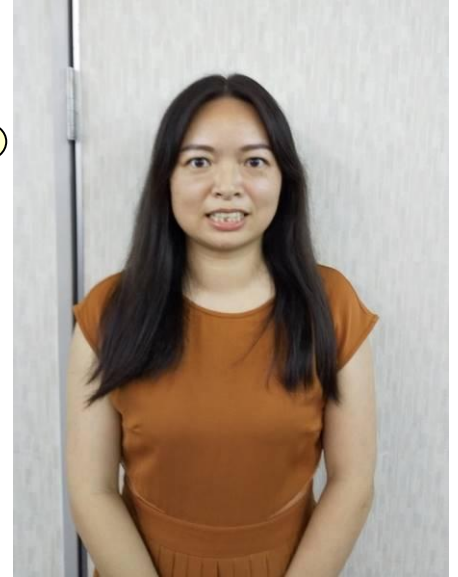
今まで約9カ月日本語を勉強しました。

この間、いろいろお世話になり、ありがとうございました。

ここで勉強して日本人の生活を知り、日本の歴史や文化に興味を持ち日本語のレベルが向上しました。

心から感謝します。どうもありがとうございます。

今後ともどうぞよろしくお願いいいたします。



中川先生のへんてこ日本語 119

D調言葉

私たちが普段何気なく、口癖のように使っている言葉の中には、人を不快にするものがある。若者言葉や省略語、流行語などを得意げに使うのは、時と場によっては不相応に感じる人も多く、人物評価につながる恐れがある。舌打ちやため息なども、不快感をもたらすことが多い。

D調言葉というのがある。「だって」「だけど」「どうして」「どうせ」「でも」など、「D」で始まる言葉のことである。自信があるのかないのか、意見を主張しているのかいないのか、さっぱりつかめない。

日本語教育研究の一分野に「談話研究」というのがある。ゼミ生の研究発表を録音し分析したところ、日本人学生にかなりの頻度でD調言葉が現れたという。一方で留学生には、ほとんど現れなかったという。D調言葉のあるのとないのと、どちらが論旨が通って聞こえるだろうか。研究発表のような場面では、甘ったるい言葉遣いは不適切である。

先日かかってきた、「ネット料金が安くなる」とかいうセールスの電話に「だってこちらのほうが安くなりますよー」と言われて、「そんな話し方をしていると、あなたの株が安くなりますよ」と言って、電話を切った。1か月ほど前だったか、「だって疲れたもん」と、お母さんに甘えている子供を見かけた。どうも「だって」などのD調言葉は、幼稚で非論理的な印象を与えるようだ。

会話がスムーズに展開するか、人に好印象を与えるか否かは、敬語の使用や物腰に加えて、談話の展開も重要な要素となりそうである。接続語をどう使って談話を構成していくか、それがコミュニケーションの成否を決定する秘訣である。「だって人と上手に付き合っていきたいもん」。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄





オリーブ緊急アンケート！ 教室が休みの間どうしていましたか？

休校になって子どもたちが一日中家にいて、英語は教えられたが国語や社会は教えられなかった。自分にあう仕事が見つけれないので給付金は助かった。感染者がまた増えるのが心配。
(ペルー)

会社の仕事がほとんどなくて休んでばかりです。家に籠っています。早く生活が元に戻って欲しいです。オリーブが再開されて本当にうれしいと思っています。
(ベトナム)



毎日会社に行って仕事をしていました。オリーブが休みの間は日本語の単語を勉強していました。コロナで困ったことはどこへも行けないことです。大丈夫になったら鳥取県にいる従兄を訪ねたいです。
(ベトナム)

仕事がなくなって失業したらどうしようと怖かったです。
(ベトナム)

みんなと一緒に勉強したかった。
(中国)

5月に薬局に2時間並んでマスクを買おうとしましたが買えないことがありました。
(インドネシア)

外出は買物だけ。会社が潰れないか心配です。
(インドネシア)

緊急・緊急事態宣言が出た後も毎日会社に行っていました。日本語の勉強（特に書く練習）があまりできませんでした。オリーブがまた休みになったときのためにパソコンにZoomをインストールします。
(エチオピア)



二週間ぐらい在宅勤務で毎日体温報告しなければなりません。オンライン勤務ではなく仕事に関する本を読まされました。
(中国)

仕事が週4日になって残業もなくなり給料が減りました。生活費を切りつめています。
(インドネシア)

インドネシアにいる両親のことが心配。大きい都市がロックダウンして仕事なくなると、みんななんとかして物価の安い田舎に帰省しようとするから。
(インドネシア)

日本語がうまく話せないのが失業したら次の仕事を見つけるのが難しいだろうと心配しながら生活していました。感染が怖いので仕事か家にいるだけだった。買い物や友人に会うのも控えていて、それが心理的につらかった。病院に行ったときも、どう症状を説明していいかわからなかった。通訳を見つけるのも難しかった。
(ブラジル)

会話や食事は
十分な距離を



大学には行けますが授業がオンラインになりました。大学院生にとって今は研究することがうまくいきません。時間を調整することが難しいです。日本語の練習が減りました。
(中国)

日本での研修期間が終わったので国に帰りました。着いてからホテルに2週間隔離されました。無料で食事が出ましたが、家族の差し入れは禁止。同じホテルにいる人とも直接会話できず、つまらなかったです。
(タイ)

8月に想う



一年前のちょうど今頃、8月の末、オリーブで知り合った仲間が亡くなった。

彼女は数年前、数年間オリーブのスタッフだった。オリーブを辞めてからも、年に1回会うか会わないかの細かいお付き合いではあったが、何かしら連絡が途絶えることはなかった。

しかし、8月、突然の訃報連絡があり、彼女は帰らぬ人となった。

彼女は、私よりも幾つか年下だった。オリーブ在籍中は、運営に関してもイベントに関しても日本語教授に関しても、活発に意見を出す人であった。共にオリーブを作って来た人だった。

25年という長い年月、オリーブがきっかけでめでたく結婚したカップルもいれば、今回のように悲しい別れもある。メンバーのほとんどが、開設当初とは変わっている。ということは、どれほど多くの人がオリーブに関わってきたのだろうか、と最近考える。申し訳ないが顔もお名前も忘れてしまった人も多くいる。

連絡の途絶えた人たちは、今、どうしているんだろう。別の世界で羽ばたいているのだろうか。自分は、今もここにずっといて25年前からずっと変わらない、と、一種“おいてけぼり感”を覚えることがある。けれども懐かしい仲間と会った時にはタイムスリップして、今とは違った思い出が蘇る。ということは、気づかないけれど変化（進化？）しているのかなと少し安心する。

お葬式では、彼女と同じ時代を過ごした懐かしいオリーブの仲間が参列していた。もう10年くらい会っていなかった人もいて、本当に懐かしかった。実は、数年前にも、オリーブの仲間のお葬式があり、おおよそ同じメンバーが集まっていた。その時は「今度は楽しいことで会いたいね」と言って別れたのにそうはならなかった。でもめげずに今回もまたこう言って別れた。「今度こそ楽しいことで会いたいね。」



(2020年夏 小春)





先月の活動(7月)

日本語教室 7/4(M), 11, 18 (3回)
ZOOM 講座 7/11(講師 豊田, 参加者 約10名)



今月の活動予定 (8月)

日本語教室 8/1(M), 8, 22, 29 (4回)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ● () 内は参加者、または 参加予定者。敬称略



参加人数 (7月)

	7/4	7/11	7/18
生徒	31人	21人	23人
先生	26人	21人	21人



会員の動き (7月)

〈入会〉 戸谷 豪志
〈休会〉 なし
〈退会〉 なし

コロナ禍でもできることに挑戦!

オリーブでは Zoom を使ってオンライン講座ができないか、試行錯誤いたしました。普段から Zoom を使って日本語指導をされている豊田さんに講師をお願いし、アプリを入れてチャレンジしました。当日約 10 名の参加者があり、それぞれスマホやノート PC で挑戦してみました。正直な感想として、まずは慣れないといかんなあ、ってところでしょうか? 生徒さんとの授業でいきなり使用はできない、と感じております。ZOOM 無料版は 40 分の制限がありますが、一度終了して再度アクセスするとまた 40 分使えます。Wi-Fi 環境によりますが画像が送れなくなったりするので参加者は 8 名までにしておいた方がよいと思います。

でも、便利になりましたねえ。世界の人と顔を見て話せるのですから。

日本語教室オリーブに来てくれる生徒さんの中には、日本語習得を第一目的としつつ、でも人と会いたい、話したい人も多いです。

感染症ってなくなる。これからは感染を意識しながら人との触れ合いを模索する時代がきますね。オリーブでも、「会いたい」需要を考慮しつつ、学習者に提供できる事を考える良い機会になったかも。



(中溝)

気になる記事 にほんでいきる

現在、毎日新聞では、「にほんでいきる 外国から来た子どもたち」というテーマで記事が連載されています。因みに2回目は「言葉は人と人つなぐ橋渡し 日本語授業、まず必要」と題したサヘル・ローズさんへのインタビューでした。

テーマ的に、今の日本語教室の在り方や問題点、今後の望ましい在り方等を有識者や体験者にインタビューしているものです。立場も違う方々の意見を読むのにはよい感じなので、毎週楽しみにしております。

ネットが氾濫しているけれど、昭和な私は新聞でゆっくりと読みたい派です。 (中溝)

《 編集後記 》 ♪

今回は初めての編集でした。

すでに皆さんのネタが準備あれているのでとっても楽なはずなのに、自分のパソコンが今一つ使えてない感じで、ご心配をかけました。

いろいろ助けてもらって感謝です。

さて、オリーブに復帰して、日々の日本語にも敏感になりつつあります。

仕事でメールを打ちますが、結構打ち間違いがあることに気が付きました。イライラして打ったメールは後で見ると誤字があつたりして恥ずかしい。

日本語を教えるのにこれではいかんですね。

(中溝)